

# 第25回 地域の声委員会の概要について

平成24年11月9日に開催した地域の声委員会では、平成24年度上期に皆さまからいただいた声について、しっかりと分析するとともに、今後の発電所の運営に反映できるよう検討しました。

皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、発電所の安全対策を着実に進めるとともに、迅速かつ正確な情報公開について努めてまいります。



地域とともに

**東京電力**

柏崎刈羽原子力発電所

# 地域の皆さまから、3,526件の“声”をいただきました

(平成24年度上半期)

発電所に直接電話をいただいた声、当社社員による地域訪問活動の際にいただいた声、PR施設等をご見学時にいただいた声、発電所広報誌「ニュースアトム」に添付のハガキによる声など、多くの厳しいご意見・ご要望をいただきました。

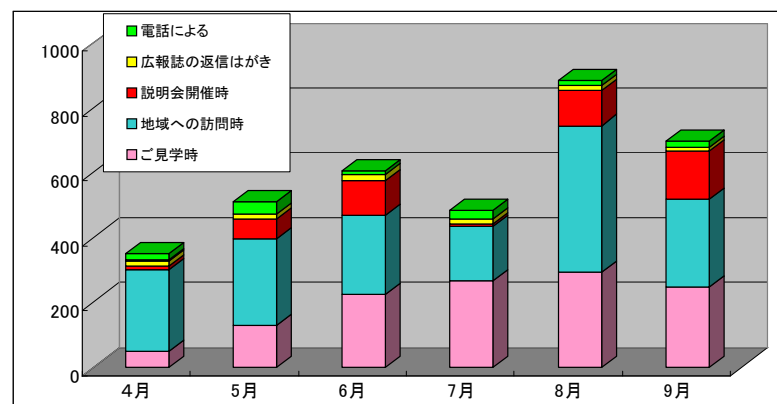
## 【いただいた主な声】

- ・もう「想定外とは絶対言えない」ということを肝に銘じてほしい。
- ・発電所でここまで様々な安全対策を進めていることを、知っている人は少ないのではないですか？もっと広くPRを行うべき。
- ・福島事故に関して東電は加害者であり、被害者に誠実に対応する事なくして、国民に信頼される事は無い事を自覚しなければならない。
- ・柏崎に原発ができてから、日々放射線は気になっていたが、福島の事故後は不安で一杯なので、細かく情報を出して欲しい。
- ・21世紀は自然エネルギーの時代です。危険な原子力発電所はもう終わりにしましょう。
- ・私は原子力には反対だが、発電所の安全対策をやるのは良いことである。
- ・東京電力は、福島へ迷惑をかけていることはもちろん、全国的に反原子力の気運を高めたことに対する責任が重大。国力の弱体化を招いている元凶だ。
- ・全号機の耐震化工事完了、本当にお疲れ様でした。
- ・安全対策にまだ見落としや考えが及ばない想定外があるかもしれない。想定内ではダメだ。
- ・これだけの設備があるのに全号機停止しているというのは、とてももったいない事ですね。
- ・構内を見学して様々な設備の対策はとても良かったが、東電は頭でっかちで機械に頼っていることが多いように思う。配備された機械が肌で分かるまで、絶えず日常的に練習をしてもらいたい。

## 【今後の活動方針】

いただいた声をもとに、引き続き下記の点に取り組んでまいります。

- 真摯な「広聴」を実施してまいります。
- 丁寧な訪問活動を実施してまいります。
- サービスホールにおける説明会を継続して開催していきます。
- 当社の取り組みを理解していただくための活動に取り組めます。
- 地域の声を収集し、地域の方々の不安解消に取り組んでまいります。
- 皆さまからいただいた声は、引き続き所長以下発電所内と本店で共有し発電所運営に活かしてまいります。



今後も皆さまからいただいた声をしっかりと発電所運営に反映してまいります。